

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1009	(H.22)No.	1009
-----------	------	-----------	------

事務事業名	地域防犯活動事業		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
企画財政部	危機管理室	藤岡 善光	63-7271
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 20 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施 策	3	防犯
	小 施 策	1	地域防犯活動の促進
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分	事業コード	024701
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	地域防犯活動事業
項	総務管理費	(小事業名)
目	防犯対策費	地域防犯活動事業

3. 事務事業の概要

事業概要
<p>名張警察署が事務局の名張地区防犯協会は、名張署管内(伊賀市青山地区を含む)での街頭犯罪抑止啓発活動、名張川納涼花火大会街頭啓発、年末年始特別警戒、戎まつり街頭啓発の実施のほか、青少年健全育成活動、広報啓発活動など、幅広い地域安全活動を実施しています。</p>

めざす効果(事業目的)
<p>「名張地区防犯協会」への活動費及び運営事務費を支出することにより、犯罪防止に関する啓発を推進し、犯罪のない社会を目指します。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費] ・名張地区防犯協会負担金 2,216千円	[事業内容(事業量)・事業費] ・名張地区防犯協会負担金 2,216千円	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の 実績・計画			補助金・交付金	その他 (負担金拠出)	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			名張地区防犯協会負担金	名張地区防犯協会負担金	名張地区防犯協会負担金
直接事業費	2,216千円	2,216千円	2,216千円	2,216千円	2,216千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 2,216	2,216	2,216	2,216	2,216
人工数	職員 0.13人	0.12人	0.12人	0.12人	0.12人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 949千円	876千円	876千円	876千円	876千円
+ 総事業費	(0千円) 3,165千円	3,092千円	3,092千円	3,092千円	3,092千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	刑法犯認知件数	-	-	-	-	797
	実績		899	765	855		
成果指標	目標	犯罪に対して不安感を持っている市民の割合	-	-	-	-	53.0
	実績		56.9	52.9	49.3		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針	犯罪に対して不安感を持っている市民の割合については、全国的に犯罪の多発・凶悪化などにより社会不安が増大していますが、名張市では減少傾向にあります。一方、刑法犯認知件数は昨年度に比べ増加している為、名張地区防犯協会の活動を強化するよう、働きかけます。						

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
全国的に犯罪の多様化、凶悪化が進み、高齢者を狙った犯罪も増加傾向にあります。	

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)		備考欄(工夫・改善等を記載)
協働等は実践していますか 一部実践している	協働等の主な相手先について その他団体	
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) 補助・助成	協働等の今後の取組について 継続実施	
(2) (現在の事業費の範囲で)効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか 現在の手法が妥当である		
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか 現在の手法が妥当であり、連携や統合は困難である		
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか 新たな財源確保や事業に係る負担の見直しは困難である		
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか 検討の余地がある		名張地区防犯協会と生活安全推進協議会防犯部会との役割の明確化を行い、活動の分担等を実施し、活動の効率化を図る必要がある。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法)	特記事項
継続(現行)	
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 名張地区防犯協会と生活安全推進協議会防犯部会との役割の明確化を行い、活動の分担等を実施し、活動の効率化を図る必要がある。	

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	6119	(H.22)No.	6119
-----------	------	-----------	------

事務事業名		青少年補導センター事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
教育委員会事務局		文化生涯学習室		杉本 一徳	63-7892
新・継	事業期間		根拠法令等		
継続	平成	年度 ~	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	3	防犯
	小施策	2	青少年の非行防止
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分		事業コード	508503
一般会計		(中事業名)	予算書事業名
款	教育費	青少年健全育成事業	
項	社会教育費	(小事業名)	
目	青少年対策費	青少年補導センター事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>青少年を取り巻く環境が厳しい中、三重県警からの派遣職員や教育現場経験の豊富な補導員を中心に、関係機関との連携と市民ボランティアの協力により、全市的に補導活動や有害環境浄化活動、相談業務の充実に取り組む。</p>	

めざす効果(事業目的)
<p>即効性を求める事業ではないが、青少年の非行や犯罪防止に効果を得ている。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成22年度 (実績・決算見込)	平成23年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	主な事業の実績・計画	[事業内容(事業量)・事業費] 非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を4名の非常勤補導員が交代で平日毎日実施	[事業内容(事業量)・事業費] 非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を4名の非常勤補導員が交代で平日毎日実施	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施
			補助金・交付金	その他 ()	
			平成24年度 (計画)	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)
			非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を4名の非常勤補導員が交代で平日毎日実施	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を4名の非常勤補導員が交代で平日毎日実施	非行防止街頭パトロール、下校時安全パトロール、青少年悩み相談対応を4名の非常勤補導員が交代で平日毎日実施
直接事業費	639千円	623千円	623千円	623千円	623千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 639	623	623	623	623
人工数					
職員	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人	0.45人
臨時職員等	2.50人	2.50人	2.50人	2.50人	2.50人
概算人件費	(0千円) 7,535千円	7,535千円	7,535千円	7,535千円	7,535千円
+ 総事業費	(0千円) 8,174千円	8,158千円	8,158千円	8,158千円	8,158千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成22年度の()内の数値は、21年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。企業会計及び組合会計の、財源内訳の一般財源欄は、一般会計繰入金または市分担金を記載しています。平成24年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	件	-	-	-	-	70
	実績		77	53	22		
	目標						
	実績						
考察及び今後の対応方針							

6. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
平成23年4月の近大高専の開学に伴い、高校生から大学生世代の行動に変化が起きる可能性がある。	補導センター補導員の活動や名張市青少年育成市民会議の名張少年サポートふれあい隊活動を粘り強く継続してきた結果、問題行動を見かける機会がめっきり減ったが、活動の継続は今しばらく必要である。(ふれあい隊班長会議より)

7. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

(1) 協働の取組(「新しい公」の推進)	
協働等は実践していますか <input type="text" value="実践している"/>	協働等の主な相手先について <input type="text" value="市民公益活動団体等"/>
協働等の主な形態について(現在および今後の可能性) <input type="text" value="実行委員会・協議会設置"/>	協働等の今後の取組について <input type="text" value="継続実施"/>
備考欄(工夫・改善等を記載)	
(2) (現在の事業費の範囲で) 効果を高める方法や工夫等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>	地域づくり組織の活動との連携
(3) 事業効果を一層高めるため、他の事務事業との連携や統合を図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>	名張警察署との連携
(4) 新たな財源確保や事業に係る負担の見直し等を、さらに図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>	補助金制度の活用はあり得る。
(5) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができますか <input type="text" value="検討の余地がある"/>	組織、機関、団体間の連携と役割分担。

8. 今後の事務事業の方向(点検を踏まえた担当室による内部評価)

総合評価(事業の展開方法) <input type="text" value="継続(現行)"/>	特記事項
(1) 短期的な(平成23年度)事務事業の工夫・改善など 名張市青少年育成市民会議との連携により、民間の活力をさらに活用する。	
(2) 「継続(現行)」の理由、中長期的な(平成24年度以降)事務事業の工夫・改善など 名張市青少年育成市民会議との連携により、民間の活力をさらに活用する。	